

1. 外部向け研修会・講習会・公開講座等の開催状況

(1) 出前講座「どうにかしよう！その膝の痛み」			
担当部署	関節ワーキンググループ	対象	膝の痛みがある地域住民及び家族
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・膝の痛みでお悩みの方に、変形性膝関節症の正しい知識と痛みに対する適切な対処方法を理解していただき、痛みの軽減と自己管理能力を高める。 ・当センターで実施している人工関節手術等の治療について周知する。 	日時	R1. 5. 29(水) 15:00～16:00 R1. 7. 31(水) 15:00～16:00 R1. 8. 31(金) 14:00～16:30 R1. 9. 20(金) 15:00～16:00 R1. 10. 18(金) 15:00～16:00 R1. 11. 15(金) 15:00～16:00 R1. 12. 16(月) 15:00～16:00 R2. 1. 10(金) 15:00～16:00 R2. 2. 17(月) 15:00～16:00
		場所	R1. 5. 29、7. 31 イオンタウンおゆみ野 R1. 8. 31 城西国際大学 その他 イオンスタイル鎌取
		参加人数	各日 20名程度
○イオンタウンおゆみ野 食事から最新の人工関節まで、治療のすべてを解説。 ・医師やその他専門職種による講演 ・自宅で出来る！膝体操 ○城西国際大学 ・変形性膝関節症に関する講話・薬と食品の飲み合わせに関する講話・体操指導 ・食事から3Dプリンターを使っの最新手術までに関する講演 ○イオンスタイル鎌取 ・変形性膝関節症に関する講話・薬と食品の飲み合わせに関する講話・体操指導			

(2) 第1回せき損リハ・ケア研修会			
担当部署	脊損リハ・ケアワーキンググループ	対象	回リハ病棟、訪問看護ステーション、老人保健施設等のスタッフ
目的	脊髄損傷のリハビリテーションの質の向上及び関係機関との連携強化。	日時	R1. 6. 29 (土) 10:00～16:00
		場所	千葉リハビリテーションセンター 2階大ホール
		参加人数	66名
高齢脊損者の諸問題、排泄管理や生活支援のケア、移乗・移動を中心としたリハビリテーションの流れ、退院支援、症例紹介についての講義と、職種ごとの情報交換会、施設見学を行った。			

(3) 第19回千葉リハビリテーションセンター公開講座			
担当部署	地域リハ推進部	対象	県民、関係機関職員、関係職種養成校学生他
目的	小児から成人、高齢者に至るまで、民間では対応が難しい障害のある方々の家庭復帰や社会復帰に向けて、医療・看護・リハビリ療法・福祉などの当センターの専門スタッフによる総合的リハビリテーションの様々な取り組みを広く県民に理解していただくことを目的とする。	日時	R1. 7. 6(土) 13:00～16:00
		場所	千葉県千葉リハビリテーションセンター
		参加人数	192名
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「動いて実感！感じて納得！リハビリテーション」 ・講演：「リハビリテーションってなんだろう？」(センター長 吉永勝訓) ・講演：「脳卒中の再発を防ぐ」(脳神経内科医師 近藤美智子) ・体験：職種や部署ごとにブース設置 <ul style="list-style-type: none"> ○健康に関する看護相談 ○キッズユニフォーム試着体験 ○顕微鏡で見てみよう！！～検査体験～ ○高血圧予防 まずは減塩から！ ○ドライビングシミュレーター体験 ○薬剤師によるミニ講演 ○こどものリハビリテーション(スパイダー)の紹介・体験 ○ロボットリハ ・展示：○自助具・コミュニケーションエイドなどの福祉用具の展示 ○更生園の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ○高次脳機能障害についての紹介 ○介助犬の紹介・デモ ・見学：ツアー形式で職員が引率 <ul style="list-style-type: none"> ○成人リハビリ室 ○小児リハビリ室 ○福祉機器展示室 			

(4) 令和元年度千葉県市町村職員研修 (重症心身障害児者および医療的ケア児者への支援)			
担当部署	総合相談部	対象	市町村職員 (障害福祉関係課)
目的	障害福祉関係課の窓口対応をする市町村職員に、重症心身障害児者及び医療的ケア児者についての理解を深め、また、『千葉県重症心身障害児者及び医療的ケア児者の実態調査』結果を説明し、当該市町村の障害福祉行政、災害対応に有効に活かすため。	日時	R1. 7. 8(月)9:00~17:00
		場所	千葉リハビリテーションセンター 2階大ホール
		参加人数	44名
<p>・講義</p> <p>「重症心身障害児者および医療的ケア児者実態調査報告 概要」(愛育園長 石井光子)</p> <p>「重症心身障害児者および医療的ケア児者の特徴」(愛育園長 石井光子)</p> <p>「NICUからの在宅移行の現状と退院支援」(成田赤十字病院 新生児科部長 戸石悟司氏)</p> <p>「医療的ケアの必要な重症児の療育支援の実際」(児童発達支援センター 通園科長 小野亮子)</p> <p>「医療的ケアの必要な重症者の日中活動支援の実際」(愛育園生活支援・療養介護科長 東川暁子)</p> <p>「実態調査から重症心身障害児者および医療的ケア児者に求められるサービスと市町村の役割」 (福祉局長 景山朋子)</p> <p>「相談支援の実際と、医療的ケア児等コーディネーターの役割」(総合相談室長 佐藤郁夫)</p> <p>「在宅医療を中心にした在宅支援の実際」(訪問看護びいす訪問看護師 塚田典子氏)</p> <p>「海匠地域の現状ととりくみ」(しおさいホーム 相談支援専門員 影山真琴氏)</p> <p>「地域で医療的ケア児者と家族を支える支援体制づくり」(てとて相談室相談支援専門員 加藤亜矢氏)</p> <p>「市町村に期待すること」(母里子ネット 理事長汐田千恵子氏)</p> <p>・グループワーク</p> <p>「実態調査から読み取る地域の課題と今後の取り組み」 (母里子ネット 汐田千恵子氏、てとて相談室 加藤亜矢氏、しおさいホーム 影山真琴氏、 訪問看護びいす 塚田典子氏、福祉局 景山朋子 森戸崇行 佐藤郁夫 永田佳代子)</p>			

(5) 高次脳機能障害地域支援者向け連続講座			
担当部署	高次脳機能障害支援センター	対象	高次脳機能障害者に対する支援を行っている千葉県内の支援者及び高次脳機能障害に関心がある支援者
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、地域の支援機関・支援者向けに連続で講座を開催し普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	R1. 7. 10(水)14:00~16:00 R1. 8. 21(水)14:00~16:00 R1. 10. 16(水)14:00~16:00 R1. 12. 20(金)14:00~16:00 R2. 2. 19(水)14:00~16:00
		場所	千葉リハビリテーションセンター 大ホール
		参加人数	R1. 7. 10(水) : 123名 R1. 8. 21(水) : 97名 R1. 10. 16(水) : 91名 R1. 12. 20(金) : 75名 R2. 2. 19(水) : 78名
<p>R1. 7. 10</p> <p>・講義 「高次脳機能障害概論」(第一脳神経内科部長 赤荻英理)</p> <p>・ミニ体験講座 (高次脳機能障害支援センター 主任心理師 小菅倫子)</p> <p>R1. 8. 21</p> <p>・講義 「各論1：注意障害・神経疲労(脳疲労)」 ・ミニ体験講座 (高次脳機能障害支援センター 主席理学療法士 揚戸薫)</p> <p>R1. 10. 16</p> <p>・講義 「各論2：記憶障害・遂行機能障害」</p> <p>・ミニ体験講座 (高次脳機能障害支援センター 主任作業療法士 前島潤子)</p> <p>R1. 12. 20</p> <p>・講義 「各論3：社会的行動障害」(東京福祉大学社会福祉学部 教授 先崎章氏)</p> <p>R2. 2. 19</p> <p>・講義 「各論4：高次脳機能障害と就労」(高次脳機能障害支援センター 支援センター長 小倉由紀)</p>			

(6)		ふれあい看護体験2019	
担当部署	看護局	対象	看護師体験をしたい小学生・中学生・高校生
目的	看護の職を志す人材を確保するため、当センターにおいて、小学生・中学生・高校生を対象に看護の実践場面を見学し、また、体験・体感することを通して、看護についての関心や理解を深める。	日時	R1.7.27(土)9:00~15:30 R1.8.17(土)9:00~15:30
		場所	研修室及び病棟
		参加人数	R1.7.27(土):6名 (小学生1名・中学生1名・高校生4名) R1.8.17(土):6名 (小学生2名・高校生4名)
<ul style="list-style-type: none"> ・センター内見学(大ホール・ADL評価室・調理室・ドライブシミュレーター室・スキルラボ室・訓練室) ・病棟見学(吸引・入浴・トランスファーなど日々のケアの見学など)担当者と一緒に行動し、見学する。 ・昼食場面見学 ・看護体験:検温体験・車椅子体験・リフター体験・高齢者体験・片麻痺体験・手洗いチェッカー ・刻み食やムース食などの患者の食事、栄養補助食品などの試食 			

(7)		平成31年度 特別支援学校等教員研修会	
担当部署	総合療育センター	対象	特別支援学校等の教員
目的	学校教員を対象とした研修会を通して、千葉県のリハビリテーション医療と教育の連携を深める事を目的とし、「呼吸」をテーマに実施した。	日時	R1.8.7(水)9:30~16:20
		場所	千葉リハビリテーションセンター 大ホール、研修室
		参加人数	44名
<ul style="list-style-type: none"> ・講義 「重症児の呼吸障害について」(第一小児神経科部長 田邊良) 「呼吸障害のある方の日常生活の支援」(主席看護師 佐々木律子) 「在宅医療と福祉制度」(療育支援部長 森戸崇行) 「呼吸リハビリテーション」(上席理学療法士 小川智美) ・演習 「(実技)体験してみよう!ポジショニング・呼吸介助」 (上席理学療法士 小川智美、上席理学療法士 草薨香、上席理学療法士 北村千里、理学療法士 鈴木晃穂) 			

(8)		第2回高次脳機能障害生活版ジョブコーチ支援研修会(千葉県受託)	
担当部署	高次脳機能障害支援センター (千葉リハ高次脳機能障害地域生活復帰支援プロジェクト)	対象	高次脳機能障害の支援に携わる支援者 (相談支援事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、訪問介護事業所等)
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要項」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、地域支援機関に向けた研修会を開催し、普及・啓発活動を行う事を目的とする。	日時	R1.9.13(金)13:00~16:00
		場所	千葉リハビリテーションセンター 大ホール
		参加人数	60名
<ul style="list-style-type: none"> ・講義 概論「高次脳機能障害の特性と対応」(リハビリテーション療法部 成人療法室心理発達科長 三宅純子) DVD視聴「生活版ジョブコーチ支援の実際」 講義「高次脳機能障害におけるヘルパー支援の形」(高次脳機能障害支援センター 主席理学療法士 揚戸薫) ・事例に基づくグループワーク 			

(9)	第 15 回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会 (千葉県受託)		
担当部署	高次脳機能障害支援センター	対象	医療機関、福祉機関、就労支援機関等の職員
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、医療機関、福祉機関及び就労支援機関向けに懇話会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	千葉市民会館 B1 小ホール
		場所	R1. 9. 28 (土) 19:00~21:00
		参加人数	155 名
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演：「高次脳機能障害の臨床：社会的行動障害を中心に」 (京大大学院医学研究科脳病態生理学講座 (精神医学) 教授 村井俊哉氏) 			

(1 0)	千葉県こどものリハビリ多職種勉強会		
担当部署	総合療育センター	対象	小児リハに関わる多職種スタッフ
目的	県内の小児リハの質向上を目的とした勉強会。こどものリハビリに関する知識の習得と、多職種による職種の垣根を越えた顔と顔の見える関係づくり。	日時	R1. 10. 19 (土) 10:00~16:30
		場所	千葉リハビリテーションセンター 大ホール
		参加人数	109 名
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演：「脳性麻痺児・者に対する包括的介入-重症児とトランジション-」(ボバース記念病院 病院長 荒井洋氏) ・ 講義：「成長に伴う骨・関節の変化、二次障害、および手術適応について」(第二小児整形外科部長 鶴岡弘章) 「どのような視点で子どもを見、考え、リハビリに生かしていくのか」(主席理学療法士 金坂一篤) ・ 症例検討会 グループワーク 主催：千葉県千葉リハビリテーションセンター、 共催：日本脳性麻痺・発達医学会 (JACPD)			

(1 1)	第 3 回高次脳機能障害就労支援研修会		
担当部署	高次脳機能障害支援センター (千葉リハ高次脳機能障害就労支援プロジェクト)	対象	就労支援に関わる方
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、就労支援機関向けに研修会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	R1. 10. 25 (金) 13:30~16:30
		場所	千葉リハビリテーションセンター 大ホール
		参加人数	14 名
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演 「高次脳機能障害概論」(リハビリテーション療法部 副部長 長谷川純子) 「高次脳機能障害の就労支援」(更生園 就労支援科 生活支援員 吉田大) 「高次脳機能障害者の就労支援の実際」(高次脳機能障害支援センター 主任作業療法士 前島潤子) 「就労支援事例と地域連携」(株式会社チャレンジドジャパン就労支援センターひゅーまにあ千葉中央における就労支援) (株式会社チャレンジドジャパン就労支援センターひゅーまにあ千葉中央 伊東 結香氏) 			

(12) 第17回脊髄損傷リハビリテーション講習会（日本損害保険協会助成事業）			
担当部署	地域リハ推進部	対象	当事者、家族、支援者 介護福祉士養成校、看護師養成校、リハ 標榜病院等の職員他
目的	自動車事故により脊髄損傷などの後遺障 害を被った者の早期職場復帰・社会参加 の実現のため、講習会の開催を通じて、 被害者とその家族、支援者等への情報提 供や、情報交換の場を提供することを目 的とする。	日時	R1.11.9(土)13:00～16:00
		場所	千葉県千葉リハビリテーションセンター 大ホール
		参加人数	93名
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「脊髄損傷者の生活を豊かに」 ・講演：「脊髄損傷者の就労の実況 ～国立施設における支援の現状から～」 (社会福祉法人浴風会 第二南陽園園長 石渡博幸氏) ・シンポジウム：トークテーマ「私の働き方」 シンポジスト：宇埜雄太氏（脊髄損傷当事者）、江口雄司氏（脊髄損傷当事者） ・情報交換：みんなで話そう脊髄損傷について 			

(13) 令和元年度 療育支援研修会			
担当部署	総合療育センター	対象	肢体不自由児支援に携わる保育士等
目的	主に運動障害や運動発達に遅れのあるお 子さんの療育に関わる保育士等の質の向 上を目的とし、今回は摂食・嚥下障害と 遊びについてをテーマに実施。	日時	R1.11.23(土) 9:30～15:45
		場所	千葉リハビリテーションセンター 大ホール
		参加人数	40名
<ul style="list-style-type: none"> ・講義 <ul style="list-style-type: none"> 「小児の摂食・嚥下障害のまとめ（病態やリスク管理を含めて）」（第二小児神経科部長 湧井敦子） 「口腔機能の発達と障がいのある児の食事の援助」（作業療法科長 高波博子） 「障がいのある子どもたちの遊びと姿勢援助」（主席理学療法士 金坂一篇、上席保育士 北村由布子） 「障がいのある子どもたちの遊びとコミュニケーション」（言語聴覚科長 廣瀬綾奈） 「社会制度について」（療育支援部長 森戸崇行） ・実技演習 <ul style="list-style-type: none"> 「実際に食べてみる、参加者同士で食事介助をする」（作業療法士、看護師、言語聴覚士、理学療法士、保育士） ・グループワーク <ul style="list-style-type: none"> 「接触にかかわる諸問題への対応」（摂食嚥下障害看護 認定看護師 青木ゆかり） 			

(14) 令和元年度 成人期施設職員研修会			
担当部署	総合療育センター	対象	成人期施設職員
目的	成人期を迎えている脳性まひ等の障害の ある方の豊かな地域生活を支える支援者 向け研修会としている。今回は「加齢と ともに歩む」をテーマに実施。	日時	R1.11.30(土)9:00～15:55
		場所	千葉リハビリテーションセンター 研修室ほか
		参加人数	24名
<ul style="list-style-type: none"> ・講義 <ul style="list-style-type: none"> 「加齢による身体面の変化」（総合療育センター長 染屋政幸） 「多職種で行う健康管理について」（主任看護師 杉山裕美） 「愛育園での成人活動の紹介～華麗に年を重ねる～」（主席生活援助員 葛岡正孝） 「精神的不調に寄り添うために知っておきたいこと」（上席心理師 赤石正美） ・実技とグループワーク <ul style="list-style-type: none"> 「移乗介助について」（主任理学療法士 宇津木隆） 「摂食介助について」（上席作業療法士 吉田顕） 「コミュニケーションの基礎について」（言語聴覚士 喜安朋子） 			

(15) 自動車運転支援研修会			
担当部署	高次脳機能障害支援センター 千葉リハ成人高次脳機能障害リハプロジェクト	対象	高次脳機能障害者に対する支援を行っている千葉県内の医療従事者及び高次脳機能障害に関心がある支援者
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の運転再開支援についての正しい理解を促進するため、地域の支援機関・支援者向けに研修会を開催し普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	R1.12.4(水)18:30～20:00
		場所	千葉リハビリテーションセンター 大ホール
		参加人数	122名
講師 千葉県運転免許センターセンター長補佐、適性相談室係長			

(16) 第13回千葉県地域リハビリテーションフォーラム(千葉県受託)			
担当部署	地域リハ推進部	対象	通所リハビリテーション、訪問看護ステーション、リハビリテーション科標榜病院、地域包括支援センター、市町村担当課、社会福祉協議会、県内の理学療法士・作業療法士養成校他
目的	千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業により、地域リハビリテーションに関するフォーラムの開催を通じて関係機関の医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師等に地域リハビリテーション等に関する情報提供、情報交換の場を提供することを目的とする。	日時	R1.12.21(土)10:00～16:00
		場所	千葉市文化センターアートホール
		参加人数	137名
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ:「根拠に基づく地域リハビリテーションの展開」 ・講演:「千葉県における地域リハビリテーションの「今まで」と「これから」」(センター長 吉永勝訓) ・報告:「災害支援と地域リハビリテーションを考える」 報告者:山武長生夷隅地域リハビリテーション広域支援センター 芝井孝祐氏 安房地域リハビリテーション広域支援センター 佐伯考一氏 ・ポスターセッション:23演題 ・講演:「根拠に基づく地域リハビリテーションの展開」(奈良県生駒市福祉健康部次長 田中明美氏) ・シンポジウム:実例から考えるこれからの地域リハビリテーション シンポジスト:浦安市福祉部高齢者包括支援課 鈴木比紗子氏 千葉地域リハビリテーション広域支援センター 川村悠氏 松戸市リハビリテーション連絡会 大住崇之氏 			

(17) 第4回高次脳機能障害就労支援研修会			
担当部署	高次脳機能障害支援センター (千葉リハ高次脳機能障害就労支援プロジェクト)	対象	就労支援に関わる方
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、就労支援機関向けに研修会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	R2.1.9(木)13:30～16:30
		場所	千葉リハビリテーションセンター 研修室
		参加人数	31名
<ul style="list-style-type: none"> ・講演 「高次脳機能障害概論」(リハビリテーション療法部 副部長 長谷川純子) 「高次脳機能障害の就労支援」(更生園 就労支援科 生活支援員 吉田大) 「高次脳機能障害者の就労支援の実例」(高次脳機能障害支援センター 主任作業療法士 前島潤子) 「就労支援事例と地域連携」(株式会社チャレンジドジャパン就労支援センターひゅーまにあ千葉中央における就労支援) (株式会社チャレンジドジャパン就労支援センターひゅーまにあ千葉中央 伊東結香氏) 			

(18)	ア. 大規模災害リハビリテーション支援チーム本部運営ゲーム (REHUG) ファシリテーター養成研修 イ. 一般向け REHUG 研修		
担当部署	地域リハ推進部	対象	ア. 千葉 JRAT 構成団体が推薦する者、地域リハビリテーション広域支援センターが推薦する者 イ. 千葉 JRAT 構成団体、地域リハビリテーション広域支援センター、ちば地域リハパートナーに属する者他
目的	ア. 大規模災害リハビリテーション支援チーム本部運営ゲーム (REHUG) のファシリテーターを養成し、REHUG 研修会への運営協力を要請すること。また、発災時には災害リハビリテーションの本部要員として、協力要請できる人材育成をすることを目的とする。 イ. REHUG による本部運営の研修を通じて、本部要員の育成を行うこと及び参加者を名簿登録し、実災害時の応援要請者リストを作成することを目的とする。その他、REHUG ファシリテーターの研修の場としても用いる。	日時	R2. 1. 11 (土) 13:30~17:45 R2. 1. 12 (日) 9:30~13:30
		場所	千葉県千葉リハビリテーションセンター 大ホール
		参加人数	R2. 1. 11 (土) : 26 名 R2. 1. 12 (日) : 34 名
R2. 1. 11 ・ 講演 : 「熊本地震における本部運営の実際」 (熊本県理学療法士協会 理事 佐藤亮氏) ・ 演習 : 「REHUG ファシリテーター養成研修」 (熊本県理学療法士協会 理事 佐藤亮氏) R2. 1. 12 ・ 講演 : 「熊本地震における本部運営の実際」 (熊本県理学療法士協会 理事 佐藤亮氏) ・ 演習 : 「災害リハにおける本部運営ゲーム REHUG」 (熊本県理学療法士協会 理事 佐藤亮氏) (前日の研修で養成されたファシリテーターのうち 2 3 名が運営に協力)			

(19)	第 16 回高次脳機能障害リハビリテーション講習会 (日本損害保険協会助成事業)		
担当部署	高次脳機能障害支援センター	対象	当事者、家族、行政機関、医療機関、地域包括支援センター、就労移行・就労継続機関等の職員
目的	自動車事故、転倒、転落等による脳損傷に起因する様々な神経心理学的障害を有する高次脳機能障害者の早期職場復帰・社会参加の実現のため、講習会の開催を通じて、当事者とその家族、支援者等への情報提供や、情報交換の場を提供することを目的とする。	日時	R2. 1. 25 (土) 13:00~16:00
		場所	千葉市文化センター 3F アートホール
		参加人数	140 名
・ 講演 : 「高次脳機能障害者は主体性が重要」 (三軒茶屋内科リハビリテーションクリニック院長・一般社団法人日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会理事長 長谷川幹氏) ・ シンポジウム : 「職場の理解を得るために」 千葉障害者職業センター 古屋いずみ氏 株式会社 JAL カーゴサービス 総務部 長谷川 好美氏 更生園 就労支援科 生活支援員 老川 久美江			

(20) 令和元年度小児等訪問看護師育成研修事業 (重症児を受け入れる訪問看護師等研修)(千葉県受託)			
担当部署	総合相談部	対象	重症児の受入れを検討している、又は受入れ経験の少ない訪問看護ステーションの看護師等。在宅療養の障害児に関わる、又は関わる予定のある相談支援事業所等の職員等。
目的	医療的ケアが必要な小児が地域で安心して在宅医療ができるように訪問看護等を行う看護師等を育成することにより、障害児等の福祉の向上を図ることを目的とする。	日時	R2.2.8(土)9:00~17:00 R2.2.9(日)9:00~17:00
		場所	千葉リハビリテーションセンター 大ホール
		参加人数	R2.2.8:30名 R2.2.9:26名
<p>R2.2.8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義 <ul style="list-style-type: none"> 「障害児の特徴と疾病」(愛育園長 石井光子) 「重度障害児のリハビリテーション」(理学療法士 小川智美) ・演習 <ul style="list-style-type: none"> 「介助方法、各姿勢の特徴、呼吸について」(理学療法士 小川智美、宇津木隆、鈴木晃徳) ・講義 <ul style="list-style-type: none"> 「今の私の生活とこれからについて」(呼吸器ユーザー 野田匠氏、野田玲子氏) 「コアラの会の取り組みについて」(コアラの会長 佐藤通子氏) 「医療的ケアの必要な重症児者の在宅生活に必要な支援」(福祉局長 景山朋子) 「小児看護の役割と目標」(千葉大学大学院 看護学研究科 教授 中村伸枝氏) <p>R2.2.9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義 <ul style="list-style-type: none"> 「療養児の看護とケア健康管理を中心に」(淑徳大学看護栄養学部地域看護学領域 谷口由紀子氏) 「医療的ケア児等への看護における看護倫理・医療安全」(淑徳大学看護栄養学部地域看護学領域 谷口由紀子氏) ・愛育園・児童発達支援センター紹介(愛育園長 石井光子) ・講義 <ul style="list-style-type: none"> 「小児看護の倫理」(小児看護専門看護師 尾上望) ・グループワーク「地域における多機関連携と支援体制づくり」(進行:療育支援部長 森戸崇行) (ファシリテーター:愛育園長 石井光子、看護局 池畑久美子、栗林欣子、リハ療法部 伊藤孝子、福祉局 景山朋子、佐藤郁夫、永田佳代子) 			

(2 1) 令和元年度千葉県医療的ケア児等コーディネーター養成研修			
担当部署	総合相談部	対象	相談支援専門員等
目的	人工呼吸器を装着している障害児その他日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児や重症心身障害児に対する相談支援を適切に行える人材を養成するために研修を実施する。	日時	R2. 2. 8 (土) 9:00~17:00 R2. 2. 9 (日) 9:00~17:00 R2. 2. 11 (火) 9:00~17:00 R2. 2. 14 (金) 9:00~17:00
		場所	千葉リハビリテーションセンター 大ホール
		参加人数	R2. 2. 8~2. 9 : 52名 R2. 2. 11、2. 14 : 62名
R2. 2. 8			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義：「障害児の特徴と疾病」（愛育園長 石井光子） 「重度障害児のリハビリテーション」（理学療法士 小川智美） 「重症児者の利用する福祉用具と利用の流れ」（総合相談室長心得 佐藤郁夫） 「医療的ケアの必要な重症児の療育支援」（通園科長 小野亮子） 「医療的ケアの必要な重症心身障害者の日中活動支援」（生活支援・療養介護科長心得 東川暁子） 「今の私の生活とこれからについて」（呼吸器ユーザー 野田匠氏、野田玲子氏） 「コアラの会の取り組みについて」（コアラの会長 佐藤通子氏） 「医療的ケアの必要な重症児者の在宅生活に必要な支援」（福祉局長 景山朋子） 			
R2. 2. 9			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義：「療養児の看護とケア健康管理を中心に」「医療的ケア児等への看護における看護倫理 医療安全」（淑徳大学看護栄養学部地域看護学領域 谷口由紀子氏） ・ 愛育園・児童発達支援センター紹介（愛育園長 石井 光子） ・ 講義：「千葉県重症心身障害児者及び医療的ケア児者の実態調査から」（福祉局長 景山朋子） 「地域における多機関連携と支援体制づくり」（てとて相談室 相談支援専門員 加藤亜矢氏） ・ グループワーク：「地域における多機関連携と支援体制づくり」（進行：療育支援部長 森戸崇行） （ファシリテーター：看護局 池畑久美子、栗林欣子、リハ療法部 伊藤孝子、福祉局 景山朋子、佐藤郁夫、永田佳代子） 			
R2. 2. 11			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講 義：「医療的ケア児コーディネーターの役割と位置づけ」（千葉県障害福祉事業課 内田大貴氏） ・ 演習Ⅰ：グループワーク「コーディネーターとしての地域支援」（進行：福祉局長 景山朋子） ・ 演習Ⅱ：「成人期を迎える医療的ケアの必要な重症者と家族への相談支援（重症者の意思決定支援）」 講義・グループワーク（進行：社会福祉法人りべるたす 理事長 伊藤佳世子氏） （ファシリテーター：りべるたす 伊藤佳世子氏、しおさいホーム 影山真琴氏、てとて相談室 加藤亜矢氏、母里子ネット 原拓也氏、太陽の丘ホーム 伊藤晃子氏、発達支援室びんず 富永文子氏、福祉局 景山朋子、森戸崇行、佐藤郁夫、永田佳代子） 			
R2. 2. 14			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 演習Ⅲ：「乳幼児期の医療的ケアの必要な重症児と家族への相談支援（在宅移行支援と計画作成）」 講義・グループワーク（講師・進行：総合相談室長 佐藤郁夫） ・ 演習Ⅳ：「学齢期の医療的ケアの必要な重症児と家族への相談支援（模擬サービス担当者会議）」 講義・グループワーク（講師・進行：しおさいホーム 影山真琴氏） ・ 演習Ⅴ：「青年期の医療的ケアの必要な重症者と家族への相談支援（必要な社会資源とコーディネーター）」 グループワーク（進行：総合相談室長 佐藤郁夫） （ファシリテーター：りべるたす 伊藤佳世子氏、しおさいホーム 影山真琴氏、てとて相談室 加藤亜矢氏、母里子ネット 原拓也氏、太陽の丘ホーム 伊藤晃子氏、発達支援室びんず 富永文子氏、福祉局 景山朋子、森戸崇行、佐藤郁夫、永田佳代子） 			